

JIS

真空配管継手の取付け寸法

JIS B 2293 : 2000

(ISO 9803 : 1993)

(VSJ/JSA)

平成 12 年 3 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

まえがき

この規格は、工業標準化法第12条第1項の規定に基づき、日本真空協会(VSJ) / 財団法人日本規格協会 (JSA) から工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が制定した日本工業規格である。

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：平成12. 3. 20

官 報 公 示：平成12. 3. 21

原 案 作 成 者：日本真空協会 (〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-22 機械振興会館別館302号室 TEL 03-3431-4395)

財団法人 日本規格協会 (〒107-0052 東京都港区赤坂4丁目1-24 TEL 03-5770-1573)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 一般機械部会 (部会長 杉浦 賢)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は工業技術院標準部標準業務課 産業基盤標準化推進室 [〒100-8921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1 TEL 03-3501-1511 (代表)] にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

真空配管継手の取付け寸法

B 2293 : 2000

Vacuum technology—Pipeline fittings—
Mounting dimensions

(ISO 9803 : 1993)

序文 この規格は、1993年に制定発行されたISO 9803, Vacuum technology—Pipeline fittings—Mounting dimensionsを翻訳し、技術的内容及び規格票の様式を変更することなく作成した日本工業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある“箇所”は、原国際規格にはない事項である。

1. 適用範囲 この規格は、標準数R5 (JIS Z 8601参照) シリーズの呼び径10 mmから250 mmまでの真空配管継手(エルボ、ティー及びクロス)に対する取付け寸法について規定する。

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版を適用する。

JIS B 2290 真空装置用フランジ

備考 ISO 1609 : 1986 Vacuum technology—Flange dimensionsが、この規格と一致している。

JIS B 8365 真空装置用クランプ形継手の形状及び寸法

備考 ISO 2861-1 : 1974 Vacuum technology—Quick-release couplings—Dimensions—Part 1 : Clamped typeが、この規格と一致している。

JIS Z 8601 標準数

3. 寸法

3.1 真空配管継手の取付け寸法は、表1による。表1の e 寸法及び H 寸法は、図1、図2及び図3による。

3.2 フランジの形状及び寸法は、JIS B 8365及びJIS B 2290による。

3.3 JIS B 2290で規定されたフランジのボルト穴位置は、図4に示す。

角度 α は、ボルト穴数による。